

講義名	中国語グローバル基礎【GSP用】		
科目区分	グローバル		
担当教員	関 梅		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
この授業はグローバル・スタディーズ・プログラム（GSP）学生を対象とした「中国語A・B」の続きである。一年次の「中国語A・B」で習得したのも確認しながら、その上でレベルアップを図っていく。また、「読む・書く・話す・聞く」の4技能に力をつけていきながら、中国語検定4級レベルの達成を目指す。ハードな授業になることが予想されるが、受講者の可能性を最大限に伸ばしていくことが、この授業の大きな目標である。

到達目標
中国語検定4級に合格できる 4技能に関する到達目標 聞く：日常会話の内容を聞いて分かる 話す：日常会話の質問と答えができる 読む：300字程度の中国語の内容を理解することができる。 書く：平易な作文ができ、内容の豊かな自己紹介文を書くことができる。

提出課題
毎回の授業では、学習内容の理解状況を確認するため、トレーニング用のプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行う。また、毎週宿題のプリントも配布する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
前回の提出物の結果を講評し、理解の不十分のところを復習する。

評価の基準
提出物と授業中の取り組みによって評価する。 原則としてオンライン授業に5回欠席、1/3以上期限内に提出物が提出しなかった場合は失格とします。

履修にあたっての注意・助言他
語学の授業は実践的なものなので、声を出すことをいとわず、活発な取り組みを期待します。授業中の積極的態度は大いに評価し、宿題の提出状況も評価の対象となりますので注意してほしい。

教科書
.教科書を使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業計画
第1回 Live/授業形態についての説明及び初級編の復習 第2回 Live/ワークシート配布：文法：二重目的語をとる動詞/助動詞“会” 第3回 Live/ワークシート配布：文法：存在の“有”/助動詞“可以” 第4回 Live/ワークシート配布：文法：接続の“过”/動量詞 第5回 Live/ワークシート配布：文法：結果補語/方向補語 第6回 Live/ワークシート配布：文法：“把”構文/助動詞“能” 第7回 Live/ワークシート配布：文法：比較文/持続の“着” 第8回 Live/前半復習：ワークシート配布 第9回 Live/ワークシート配布：文法：様態補語/“是-的”構文 第10回 Live/ワークシート配布：文法：可能補語/文末の“了” 第11回 Live/ワークシート配布：文法：さらなる一歩文法 第12回 Live/ワークシート配布：文法：さらなる一歩文法 第13回 Live/ワークシート配布：文法：さらなる一歩文法 第14回 Live/ワークシート配布：文法：さらなる一歩文法 第15回 Live/総復習：ワークシート配布：

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<input type="checkbox"/> A：PBL（課題解決型学習） <input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ウ：ディスカッション、ディベート エ：グループワーク オ：プレゼンテーション カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
語学の習得は授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後に、復習、予習課題がある。そのため勉強時間も確保しなければならない。 継続的に練習するのに、毎日の学習時間は1時間以上が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
毎回の授業では40以上の双方向形式で行う予定している。